

令和 7 年度 彩の国あんしんセーフティネット事業

担当相談員養成研修

実施日	1 日目	4月 30 日(水)～5 月 30 日(金)動画配信 / 4月 30 日(水)Zoom
	2日目	5月 9 日(金) Zoom
	3日目	5月 16 日(金)
対 象	新任相談員、社協担当職員	
参加者	70名 (うち修了証発行 31 名)	
講 師	文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島氏 (2, 3 日目)	
内 容	1日目	≪動画配信、オンライン講義≫
	2日目	≪オンライン講義≫ 【社会貢献支援員によるミニ講義】 ・第 1 ブロック社会貢献支援員 熊木氏 【実践報告】 ・社会福祉法人ルストホフ志木 渡辺氏
	3日目	≪集合型研修≫ 【講義】 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島氏 【事例検討】 ・実際の支援ケースを想定した事例をもとに グループワークを実施 【シンポジウム】 ・文京学院大学 中島氏と 各ブロックの社会貢献支援員による 「支援やアセスメント時の心構え」等について



シンポジウムの様子

内 容

【1日目】

セーフティネット事業の概要について(事務局説明)の動画を視聴いただき、オンラインでは、生活困窮者自立支援制度、生活保護制度、生活福祉資金貸付制度、日常生活自立支援制度、医療・年金制度、法テラスと債務整理等について各講師に講義いただきました。

【2日目】

文京学院大学 中島氏より「近年の社会福祉の動向と生活困窮の状況について」ご講義いただきました。また、社会貢献支援員によるミニ講義とセーフティ実施施設の担当相談員より支援事例の報告をいただきました。

【3日目】

文京学院大学 中島氏による「CSW の機能と役割」「初回アセスメントと課題整理・支援検討の際のポイント」についてご講義いただきました。また、中島氏と各ブロックの社会貢献支援員より、「支援やアセスメント時の心構え」についてシンポジウム形式で報告いただきました。

【中島先生からのコメント】

- ・その人の持っている力、ストレングス(強み)を見出すことが大切。本人をありのままに理解し、先入観や偏見を持たないようにすること。
- ・あんしんセーフティネット事業は、ニーズが顕在化・見える化したタイミングを見逃さない支援が重要。

参加者の声

【講義を聞いて】

事業の歴史的背景や生活困窮者の現状について、知ることができた。セーフティネット事業として、本人からの困ったという SOS を逃さず、社会との繋がりを作るという点でも重要な事業であることを感じた。

【ミニ講義を聞いて】

「あんしんセーフティネット」を利用するにあたり、何を確認しなくてはならないのか等、学びが多かった。

【実践報告を聞いて】

事例をお話しいただけたのはとても有意義だった。実際の現場でのやりとり、反省点などは今後の参考にさせていただく。

【グループワークを行って】

セーフティ支援の経験があったので、よりイメージして取り組むことができました。複数人で検討することで、多角的な視点でとらえることができました。